

第18回天敵利用研究会プログラム

日 時 2008年11月25日（火）13:00～26日（水）12:30
会 場 城山観光ホテル（鹿児島市新照院町）
主 催 天敵利用研究会

第1日目（11月25日）

受付開始 12:00

【開会】

13:00 あいさつ、事務連絡

【一般講演】

講演時間10分（1鈴8分、2鈴10分）、質疑2分（終鈴12分）
講演者は次の講演の座長を担当（1番と9番講演の座長は事務局）

1 イチゴにおける天敵誘因植物ポリジの利用戦略

13:10 ○根本 久・大森千菜子
埼玉農総研、元東京農大・熱帯作物保護学研究室

2 ポリジのバンカー植物としての可能性と実用性の検討

13:22 畠山修一
埼玉県農林総合研究センター

3 ナスほ場における植生配置と害虫および天敵の発生について

13:34 ○柳田悠介¹・根本 久²・浦山智美³・鈴木梨絵³・渡辺真由美³・足達太郎¹
1:東京農大・熱帯作物保護学研究室、2:埼玉農総研、3:東洋大学・生命科学科

4 マメハモグリバエ卵および幼虫のコガタハモグリヤドリタマバチに対する寄主受容性

13:46 阿部芳久
九州大学大学院比較社会文化研究院 生物多様性講座

5 天敵誘引剤「ハチクール」によるコナガ防除～効果の検証事例

13:58 ○浦野 知・上船雅義・高林純示
京都大学生態学研究センター

6 志布志のピーマンにおけるIPM事例

14:10 ○大森洋一¹・中尾知子¹・西田信久¹・柿元一樹¹・上畠誠寛²・重別府良²・野島秀伸³・山中
聡⁴・関 康洋⁵ 1:曾於畑かん農推セ、2:そお鹿児島農協、3:鹿農開総セ、4:アリスタライフ
サイエンス（株）、5:（社）全農改普及支援協会

7 施設イチゴにおけるIPM実証試験

（2）チリカブリダニとアカリタッチ乳剤の併用によるハダニ防除と収量への効果

14:22 ○藤井聡子¹・一幡由香利²・村井保²・和田佳祐²・秋吉信行³・平野耕治³
1:石原バイオサイエンス(株)、2:宇都宮大学、3:石原産業(株)

8 施設トウガラシのハダニ類に対するミヤコカブリダニの放飼効果

14:34 ○徳丸 晋・田口義広
京都府農業総合研究所、出光興産株式会社

（休憩10分）

テーマ討論「特定農業資材としての天敵、生物農薬としての天敵、その扱いを考える」

司 会 本多健一郎（野菜茶研）
コメンテーター 根本 久（埼玉農研セ）

【特別講演】 パネラー、講演時間20分（1鈴18分、2鈴20分）、質疑5分（終鈴25分）

S 1 鹿児島県での天敵利用の現場から

15:00 柿元一樹（鹿児島県曾於畑かんセンター）

S 2 国内における天敵の流通・販売と利用について

15:25 田口義広（出光興産（株））

S 3 土着天敵の採集と利用、温存ハウス利用について

15:50 大野和朗（宮崎大学農学部）

S 4 韓国における天敵の登録制度と天敵の流通販売システム

- Registration and Marketing of biological control agents in Korea -

16:15 Won Kyu Lee（韓国SESIL社）

【パネルディスカッション】

16:45 パネラー

司 会

コメンテーター

出席者全員

【情報交換会】 城山観光ホテル アメジストホール鳳凰（バンケットホール2階）

18:00

20:30

第2日目（11月26日）

【一般講演】 講演時間10分（1鈴8分、2鈴10分）、質疑2分（終鈴12分）

9 アブラムシに寄生するタマバエの発見

9:00 ○村井 保・湯川淳一
宇都宮大学、九州大学

10 アブラコバチ *Aphelinus varipes* に寄生されたダイズアブラムシは下に移動してマミーとなる

9:12 ○八島 圭佑・村井 保
宇都宮大学

11 コレマンアブラバチを用いたバンカー法における二次寄生蜂の発生状況

9:24 ○長坂幸吉・高橋尚之・岡林俊宏
中央農業総合研究センター、高知県農業技術センター、高知県庁

12 伝統的生物的防除—侵入害虫クリタマバチと導入天敵チュウゴクオナガコバチ—

9:36 ○守屋成一¹・Ambra Quacchia²・Chiara Gerbaudo²・Alberto Alma²・Giovanni Bosio³
1:中央農業総合研究センター・2:トリノ大学・3:ピエモンテ州植物衛生局

13 ニンジンの有機栽培における天敵の利用可能性

9:48 ○岩井秀樹・長坂幸吉・守屋成一
中央農業総合研究センター

14 レタスのオオタバコガに対する *Beauveria bassiana* 剤の防除効果
10:00 栗原 潤
長野県野菜花き試験場佐久支場

15 減農薬ジャガイモ圃場における捕食性天敵としてのゴミムシ類の評価
10:12 伊藤 清光
北海道農業研究センター

16 導入天敵の生態リスク評価を考える
10:24 三浦 一芸
近畿中国四国農業研究センター

(休憩10分)

17 点滴灌水を利用した茶園のケナガカブリダニの保護利用
10:50 ○富所 康広・磯部 宏治
三重県農業研究所茶業研究室

18 バラでのチリカブリダニ利用の普及
11:02 関塚 知己
神奈川県農業技術センター普及指導部

19 スワルスキーカブリダニによるハウスキュウリのミナミキイロアザミウマとタバコ
コナジラミの同時防除
11:14 ○柴尾 学¹・桃下光敏²・山中 聡²・田中 寛¹
1:大阪府環境農林水産総合研究所、2:アリストライフサイエンス(株)

20 施設キュウリにおける捕食性天敵スワルスキーカブリダニとUVカットフィルムを
組み合わせた害虫防除
11:26 ○森田茂樹・柳田裕紹・嶽本弘之・浦 広幸
福岡県農業総合試験場

21 安芸地域における土着天敵を利用した防除の取り組み
11:38 山口 説夫
高知県安芸農業振興センター

22 在来捕食性天敵のバンカー利用の試み（雨よけピーマン類におけるキイカブリダニ）
11:50 ○古味一洋・中石一英・広瀬拓也
高知県農業技術センター生産環境課昆虫担当

23 環境保全型農業のトップランナーを目指して（高知県の天敵利用支援施策）
12:02 ○手島葉子・影山孝之・山本博俊・岡林俊宏・杉本久典*
高知県農業振興部環境農業推進課、*:園芸流通課

【閉会】

12:20